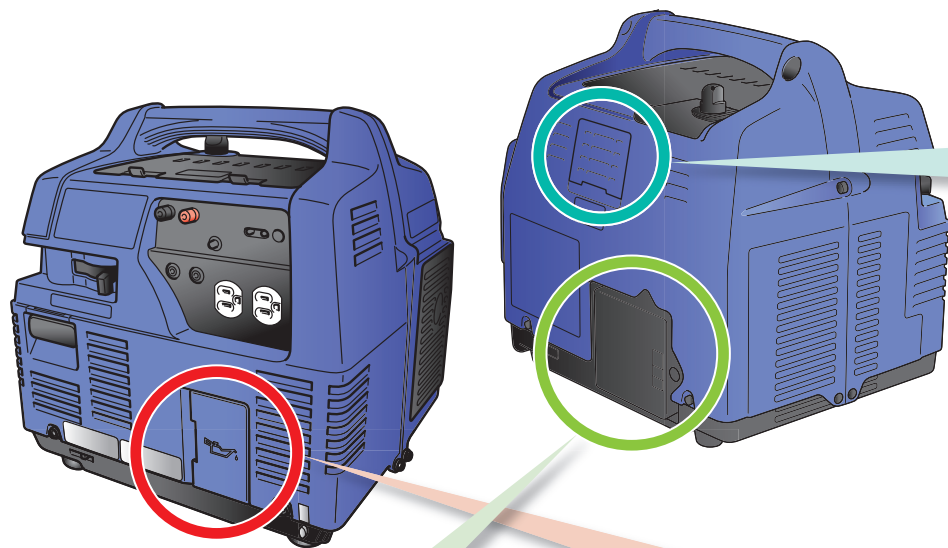


定期点検は非常に大切です。ヤマハ発電機YPPS店およびサービス店にご用命ください。

* 本体同梱の取扱説明書を必ずお読みください。



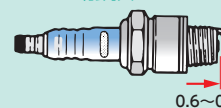
スパークプラグの点検・清掃

1 エンジン停止

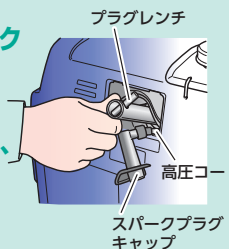
2 カバーを取り外し、スパークプラグキャップを外す

3 付属のプラグレンチを使い、スパークプラグを外す

4 スパークプラグを点検

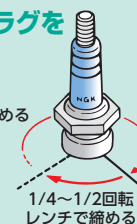


キツネ色→OK
白/黒→NG
→エアリーナ点検
※汚れ(カーボン)を落とす
※電極すき間を点検



5 スパークプラグを取り付ける

指でいっぱいに締める



1/4~1/2回転
レンチで締める

6 スパークプラグキャップを取り付け、カバーを取り付ける

指定スパークプラグ:

NGK BPR6HS

電極すき間: 0.6~0.7mm

点検・清掃時期: 100時間運転毎

エアリーナエレメントの点検・清掃

1 エアリーナカバーを外す

2 エレメントを取り出す

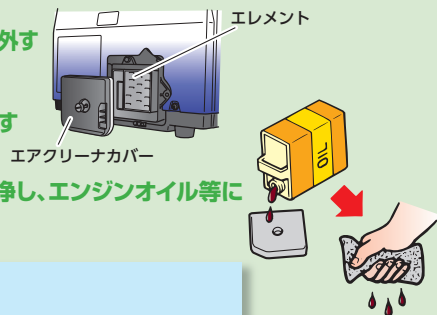
3 きれいな白灯油で洗浄し、エンジンオイル等にひたす

警告

- 洗剤は引火しやすいので、火気を近づけないでください。
- 洗浄は換気の良い場所で行ってください。

4 余分なオイルを取り除き、エレメントをケースに戻す

5 エアリーナカバーを取り付ける



エンジンオイルの交換

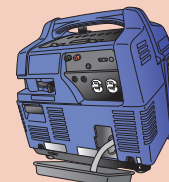
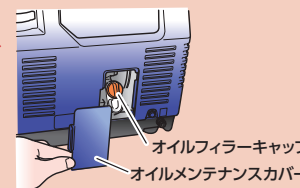
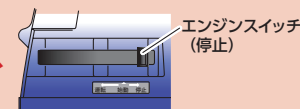
要 点 排出するエンジンオイルを受け取る容器を用意してください。

1 2~3分暖機運転後、エンジンを停止

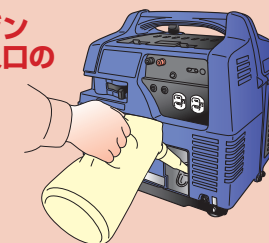
2 オイルメンテナンスカバーを外す

3 オイルフィルターキャップを外す

4 発電機本体を傾けて、エンジンオイルを抜く



5 新しいエンジンオイルを注入口の口元まで規定量給油



エンジンオイル
容量: 0.4L
グレード: API分類SE級以上
(SAE 10W-30または10W-40)

オイルが少ない場合は始動しません。
また、規定量以上に給油しないでください。

6 オイルフィルターキャップを締め付ける

7 オイルメンテナンスカバーを取り付ける

長期保管手順

EF900iSGB2

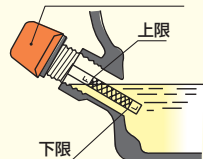
要 点 使用后または定期運転後、次回の使用が3ヶ月以降になる場合は、1~6の作業を行って保管し、次に使用する時に備えてください。

* 本体同梱の取扱説明書を必ずお読みください。

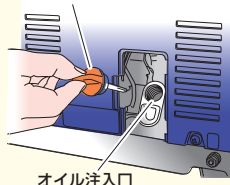
1 各部をきれいな乾いた布で清掃します。

2 エンジンオイルの交換は、初回で使用後20時間、それ以降は6ヶ月又は100時間ごとに行ってください。(お手入れガイド参照)

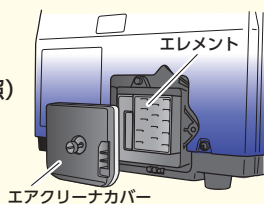
オイルフィルターキャップ
(オイルレベルゲージ)



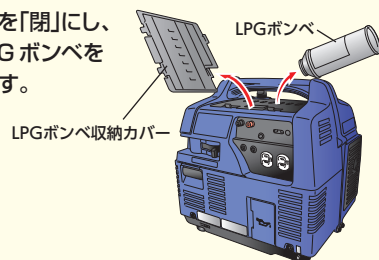
オイルフィルターキャップ



3 エアクリーナを点検、清掃します。(お手入れガイド参照)



4 燃料コックを「閉」にし、燃料のLPGポンベを取り外します。



5 燃料コックを「開」にして本体を始動させ止まるまで運転します。本体停止後、燃料コックを「閉」にして冷暗所に保管します。

6 リコイルスタータグリップを引っ張り、重くなったところで止めておきます。



警告

- エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラー周辺などは非常に熱くなっています。やけどをしないようエンジンが冷えてから点検してください。
- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。しめきった室内や、風通しの悪い場所でエンジンをかけての点検はしないでください。
- 長期保管の整備を行う時は、火気厳禁です。火気を近づけないでください。
- 長期保管の整備を行う時は、換気の良い場所で行ってください。
- 抜き取った燃料ポンベは、適切な処理をしてください。
- LPGポンベの取り付け、取り外しはエンジンを停止した状態で換気の良い場所で行ってください。
- 燃料は引火しやすく爆発性がありますので、取扱いは十分注意を払ってください。